

東急リニューアルが、既存建物のリニューアル向け

ZEB Ready 化の提案ライブオフィスによる実証を開始！

東急リニューアル株式会社(東京都渋谷区:社長 土田 修)は、脱炭素社会に向けて、既存建物の ZEB 化を推進するために、渋谷地下鉄ビルディングの 2 階に、ZEB Ready 提案ライブオフィスを開設し、ZEB 化の実証を開始しました。

2050 年のカーボンニュートラルの実現のためには、リニューアル ZEB の推進が重要とされています。既存建物の ZEB 化のためには、通常、建物を全面的にリニューアルする必要があり、テナントの調整などハードルが高いといわれていました。

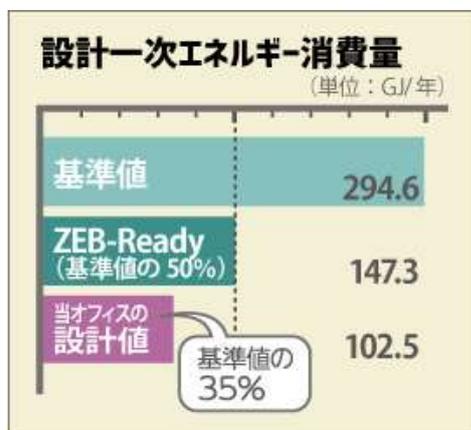
当社は、ゼネコンである東急建設グループとしての総合力を生かして、各階・各テナントエリア完結型で、ZEB Ready 化を構築できる独自の技術「ZEBoT(ゼボット※)」工法の実証を行います。本工法の実証を開始したライブオフィスでは、既存建物の 2 階オフィス部分のみを、一次エネルギー消費量を基準値の 35%に抑えるように設計しています。

本工法を用いて、建物の一部の ZEB Ready 化を積み重ねることにより、最終的には、建物全体の ZEB Ready 化を実現することを実証していきます。

※ZEBoT(ゼボット)は登録商標出願中です。

※本件は、建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)の評価を取得しました。

【当ライブオフィスの設計値】



【連絡先】 東急リニューアル(株)環境ライフサイクル事業部 海老沢・海津 TEL03-5466-5961

【実証ライブオフィス内写真】



(解決すべき課題)

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、中間点である2030年の46%のCO₂の削減は、既存建物に手をつけなければ、決して達成できない数値と言われており、当社では既存建物におけるリニューアルでのZEB化の推進を、解決すべき課題と捉えております。

(今後、将来展望)

今後、既存建物のZEB化リニューアルの需要は拡大することが見込まれます。既存建物のリニューアルに合わせて、建物特性を踏まえた省エネルギー機器や創エネルギー機器の導入を推進し、ZEB化リニューアルの技術を蓄積することで、お客様のニーズに応えるとともに、2050年のカーボンニュートラルの実現に積極的に貢献していきます。